

会社説明資料

株式会社 土木管理総合試験所
2016年6月

I. 会社概要	P 2
II. 業務内容・特徴	P 6
III. 今後の戦略	P 10
IV. 配当/記念株主優待	P 21
V. 参考（2016年第1四半期決算概要）	P 24

I.会社概要

商 号	株式会社土木管理総合試験所（6 1 7 1） C.E.Management Integrated Laboratory Co.Ltd
本 社	長野県長野市篠ノ井御幣川877-1
事 業 所	29か所（本社1箇所、支店18箇所、出張所7箇所、試験センター3箇所）
グ ル ー プ 会 社	株式会社 日新企画設計
資 本 金	5億7,096万円
従 業 数	417名（2016年4月1日現在）
創 業	1985年5月
設 立	1985年10月
事 業 内 容	試験総合サービス事業：土質・地質調査試験、非破壊調査試験、環境調査試験 地盤補強サービス事業：地盤補強工事 その他事業：試験機器販売



自社**ラボ**※を有し、社会インフラ整備に係る多様な調査・試験を
ワンストップで提供

※試験センターのこと。当社は3試験センターを有する



フィールド&サポート型※営業のビジネスモデルによる差別化、
高付加価値サービスで成長

※フィールドとは現場のこと。当社はフィールドにて顧客が抱える課題を聞き取り、顧客がどのような調査・試験を実施すべきかについて支援（サポート）するフィールド&サポート型の提案営業により他社と差別化を図る

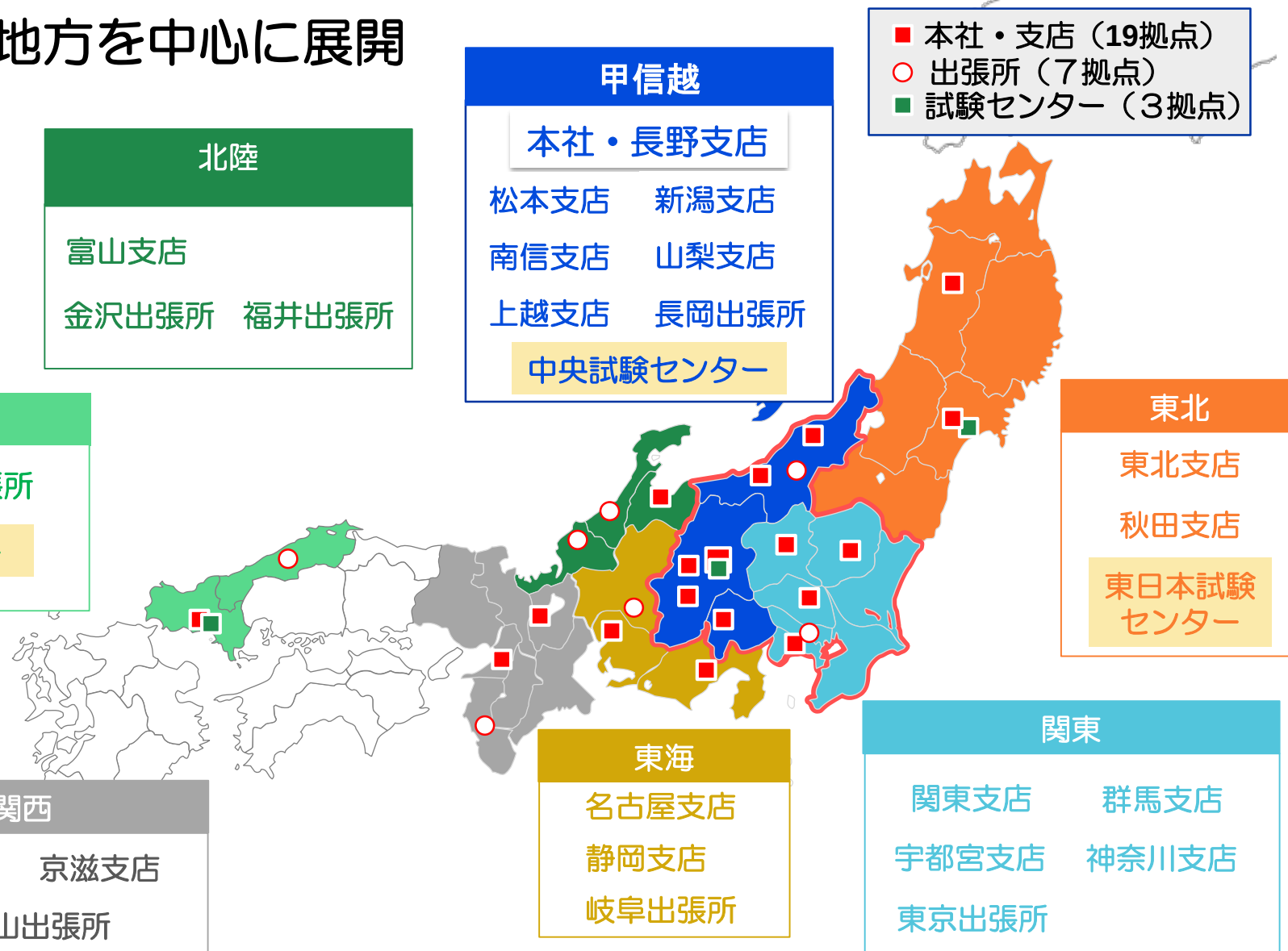


インフラ長寿命化と防災で、安心安全な社会生活に貢献し、
持続的に高い成長を目指す



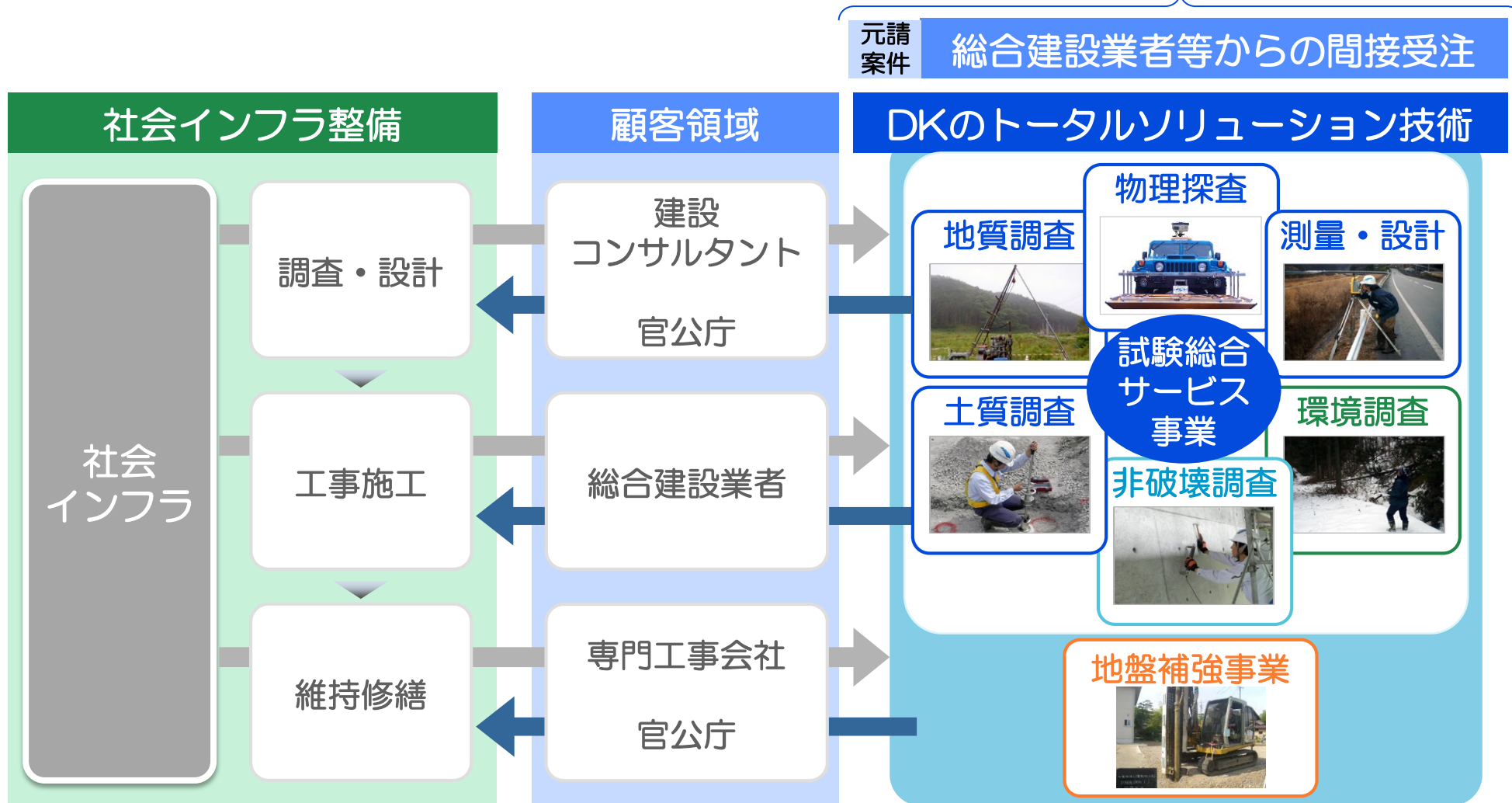
西日本への進出と東日本の強化により、全国に営業エリアを拡大し、
国内での地歩を固めグローバル展開への礎とする

関東・甲信越地方を中心に展開



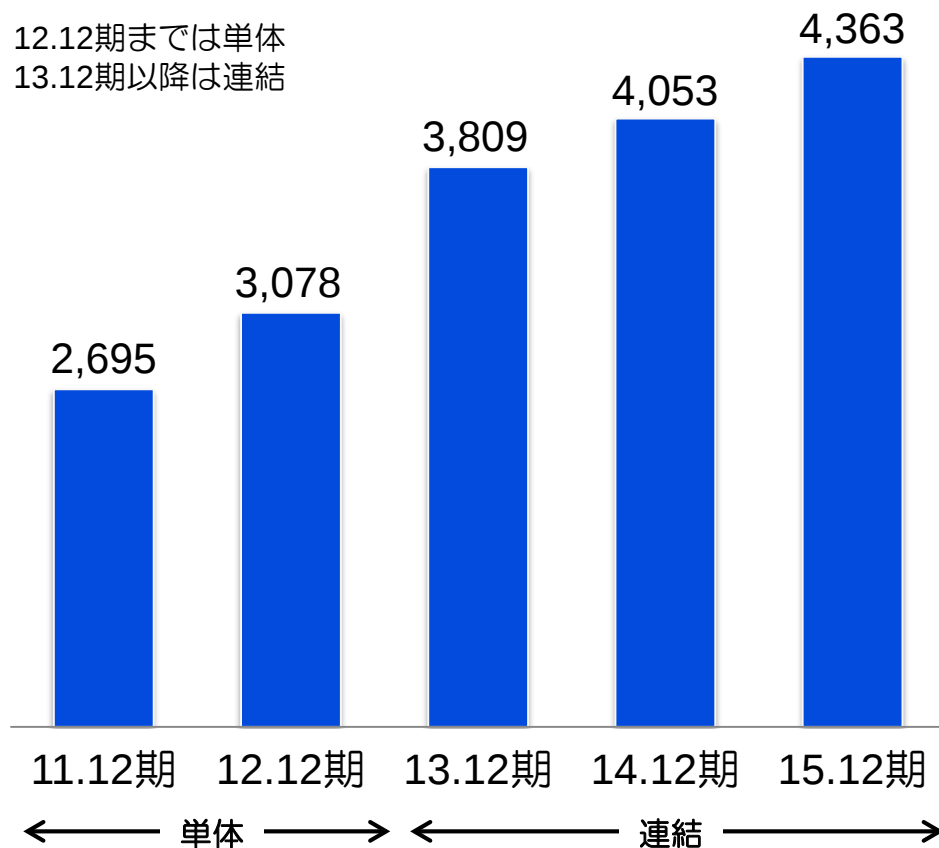
Ⅱ.業務内容・特徴

社会インフラ整備の現場での調査 受注先内訳

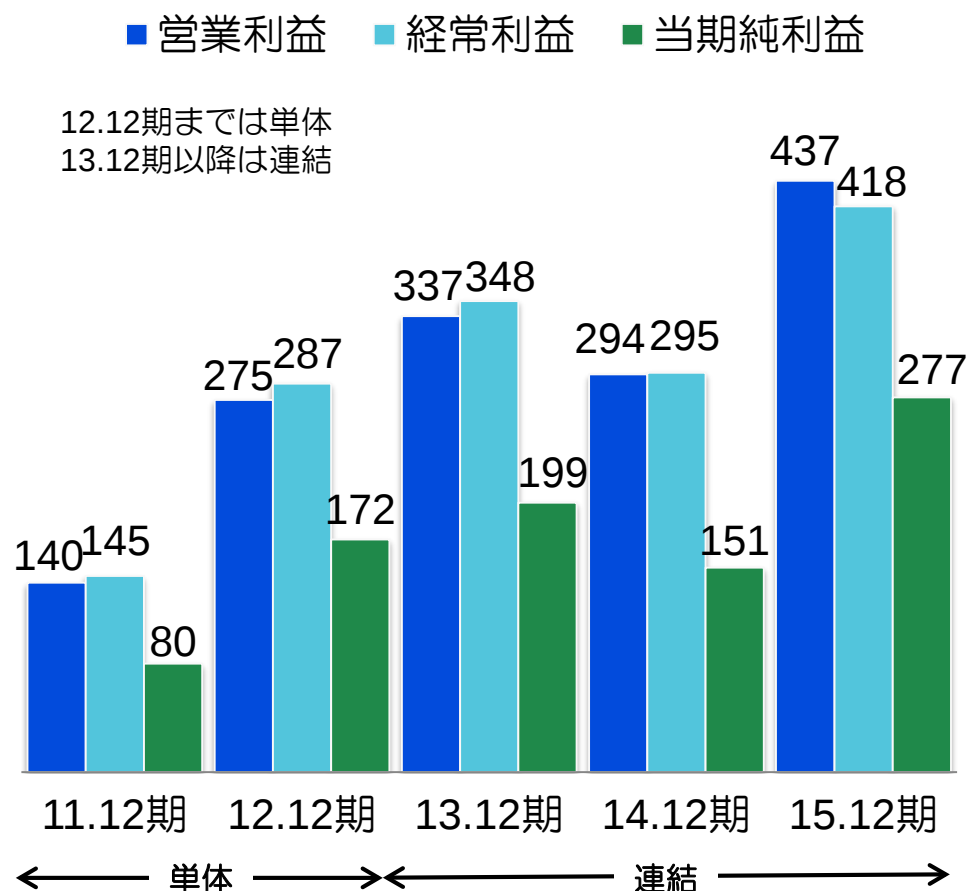


過去4期平均増収率は**12.8%**

売上高及び増収率の推移（単体、百万円）



利益の推移（百万円）



Ⅲ. 今後の戦略

試験総合サービス

- ・ 防災関連計測業務の拡大
- ・ 老朽化、震災等によるインフラストック診断需要の拡大
（3Dレーダ探査業務での差別化）
- ・ 大規模プロジェクトへのワンストップサービスでの参入
（複数調査の一括受注体制の強化）

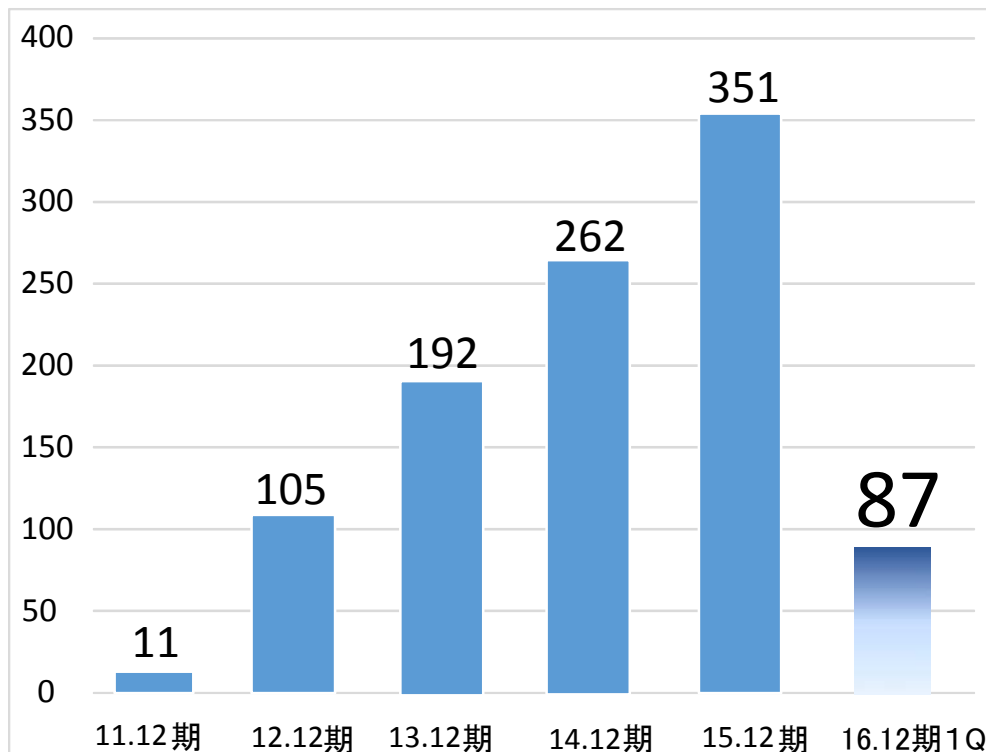
市場

- ・ 九州支店設置及び西日本試験センターの稼働による全国展開
- ・ オリンピック、リニア新幹線、北陸新幹線延伸等への対応
- ・ 試験・調査範囲を拡大するM&A
- ・ 九州及び東北における震災復旧関連事業
- ・ 海外展開

2011年10月東北支店を開設、震災復興業務を中心に事業を展開、2014年4月には東日本試験センターを開設し、震災復興関連業務の受注がさらに拡大

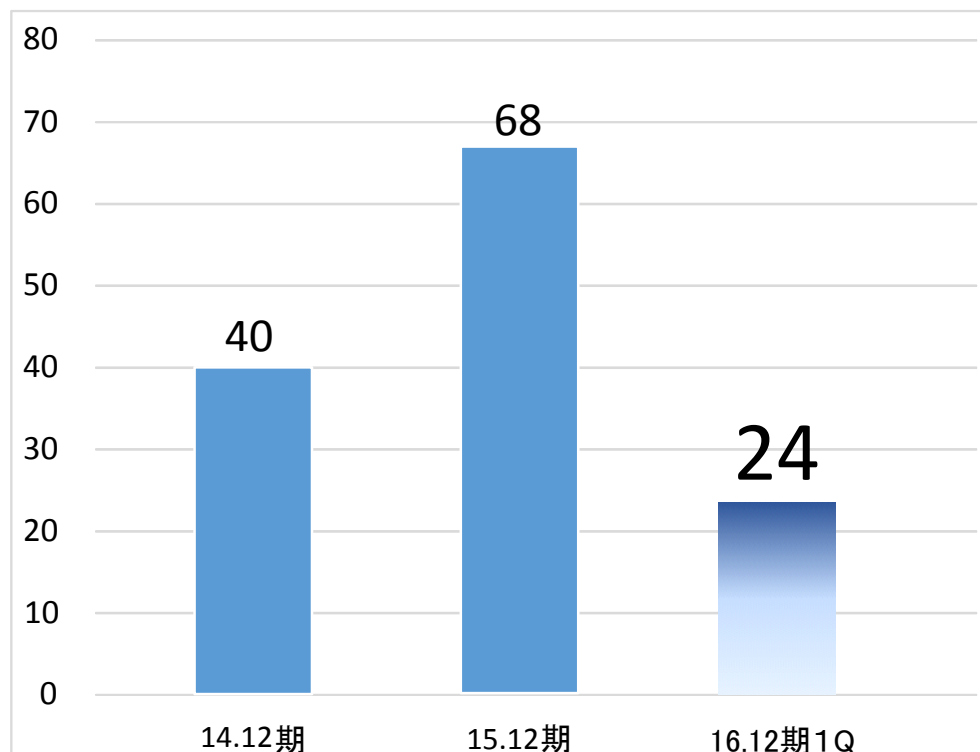
東北支店業績推移状況

(百万円)



東日本試験センター業績推移状況

(百万円)

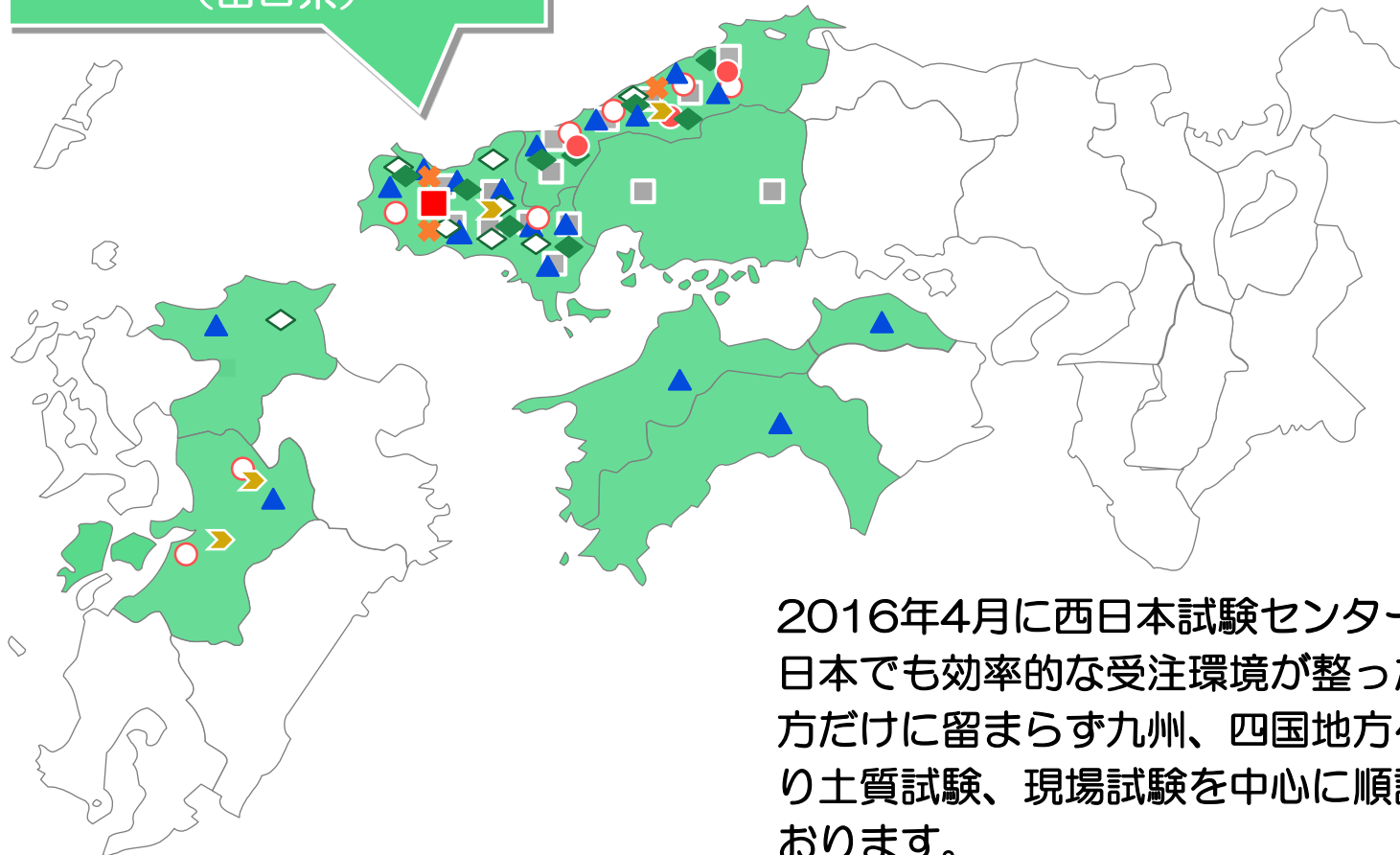


西日本試験センターを中心とした営業展開



- 山口支店・西日本試験センターを中心に、中国、四国、九州地方への展開。
- 既存の土質・地質調査試験を中心に、非破壊調査試験、環境調査試験にも対応し、中央試験センターと同規模（年間対応試料数30,000件）の試験センターを目指す。
- 南海トラフ地震に備えるための、液状化診断業務を推進中。

山口支店
西日本試験センター
(山口県)



- 現場試験
- 非破壊（CO）
- 非破壊（鉄）
- ▲ 室内試験
- ✕ ボーリング
- 物理探査
- ◇ 環境調査
- ◆ 環境分析

2016年4月に西日本試験センターが開設となり、西日本でも効率的な受注環境が整ったことから、中国地方だけに留まらず九州、四国地方への展開が進んでおり土質試験、現場試験を中心に順調に業績を伸ばしております。

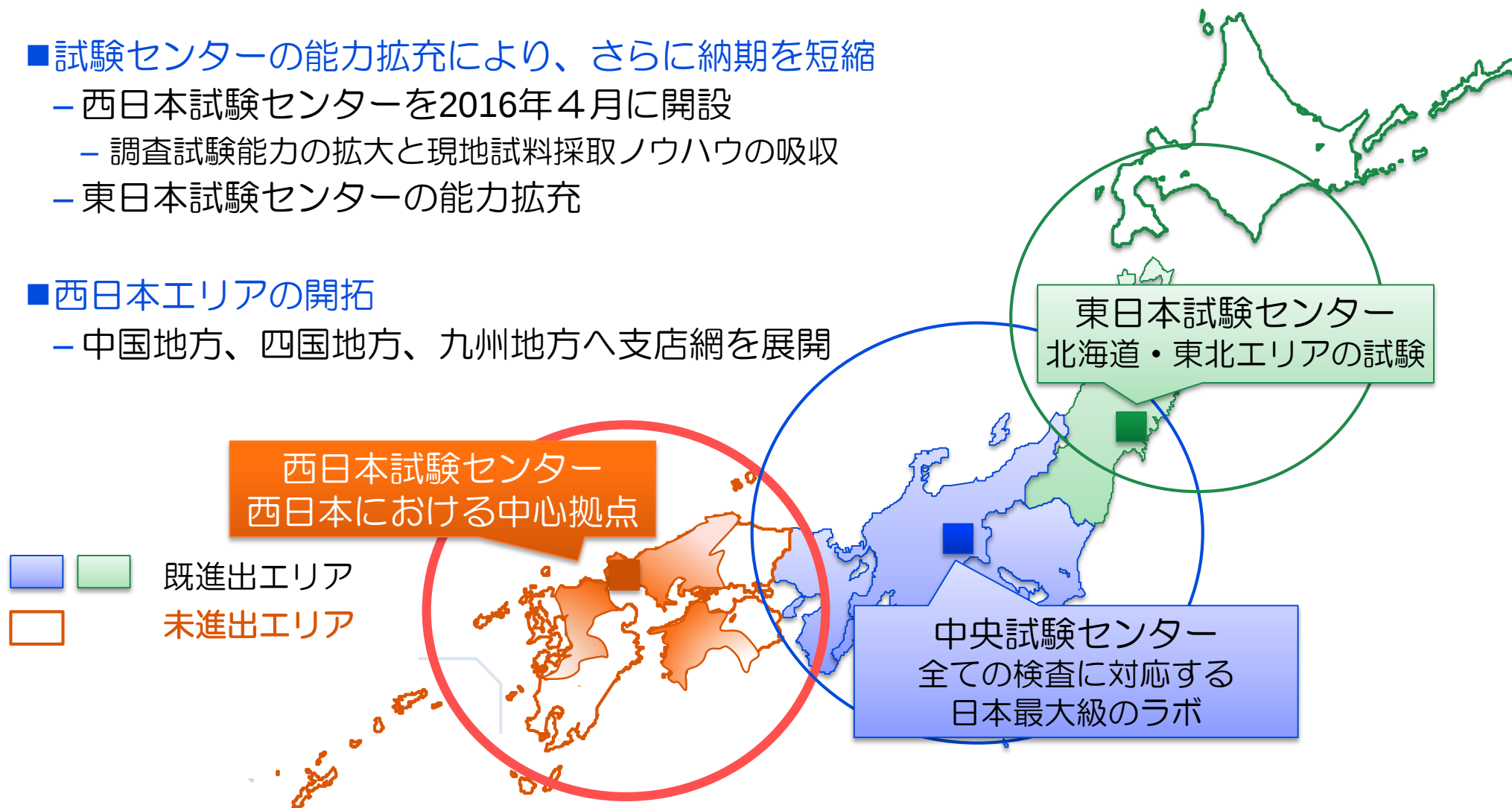
更なる受注拡大と、効率的な受注体制の確立

■試験センターの能力拡充により、さらに納期を短縮

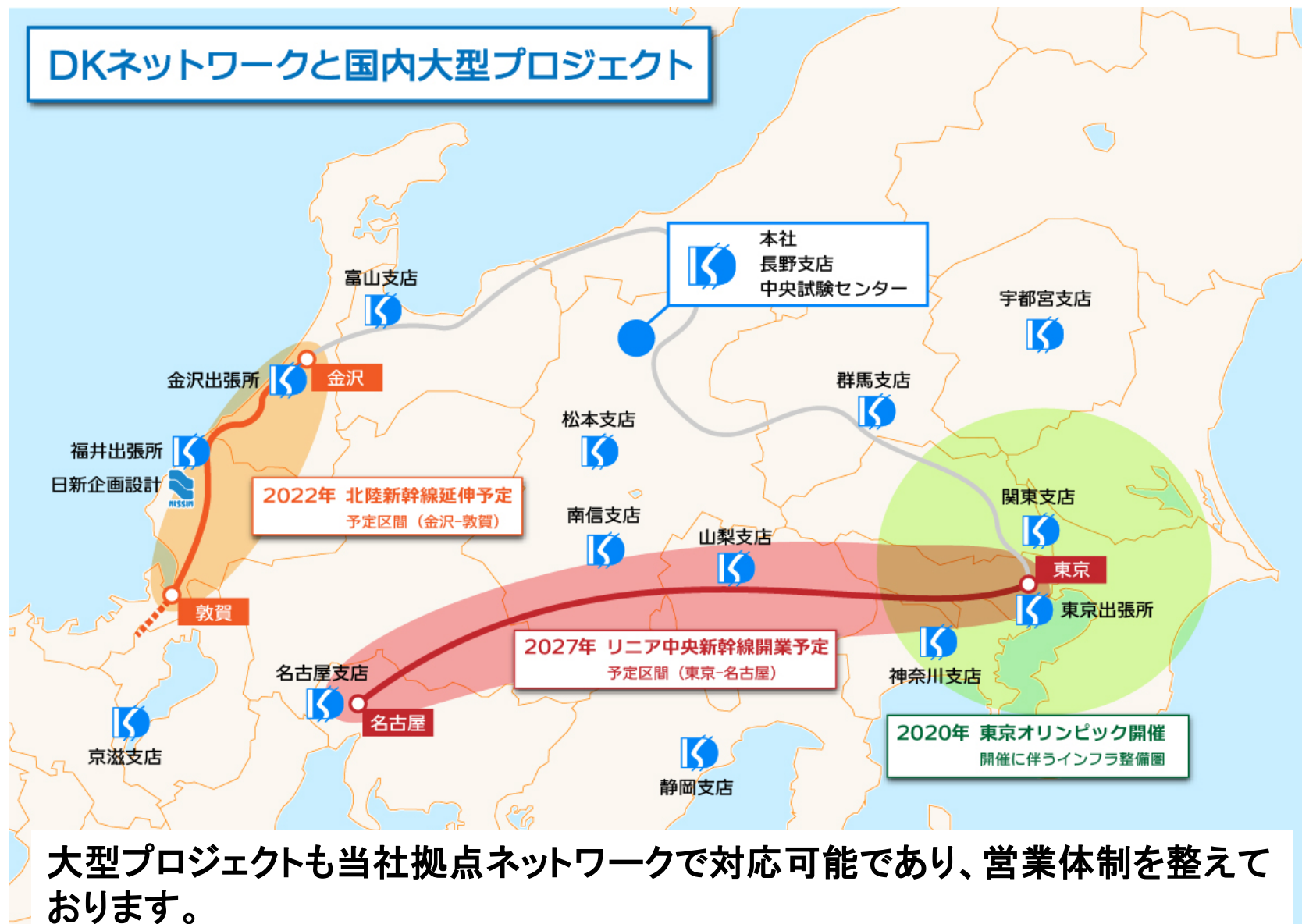
- 西日本試験センターを2016年4月に開設
- 調査試験能力の拡大と現地試料採取ノウハウの吸収
- 東日本試験センターの能力拡充

■西日本エリアの開拓

- 中国地方、四国地方、九州地方へ支店網を展開



DKネットワークと国内大型プロジェクト



ロード スキャン ビークル Road Scan Vehicle



「Road Scan Vehicle」は弊社の登録商標です

■従来型地中レーダとの比較

	ロード・スキャン・ビークル	従来型地中レーダ
工 程	30km/日(調査実績より) ⇒長距離・広面積の調査に最適	2km/日
調査速度	〜80km/h ⇒高速道路上でも交通規制が不要	5km/h
データ量	1度の走行で29測線分のデータ ⇒従来型と比較して29倍のデータ量	1度の走行で1測線分のデータ
出力データ	縦断・横断・水平断面図 ⇒3D表示。平面形状の把握が可能	縦断面図

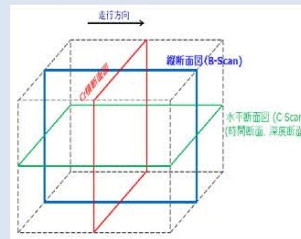
従来型地中レーダ



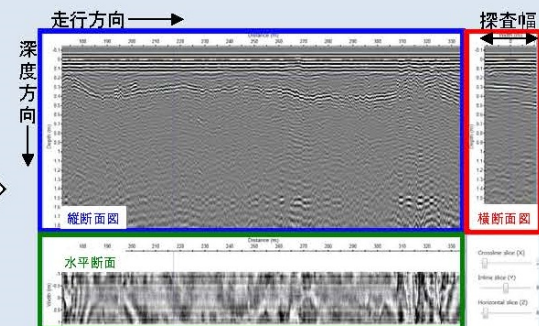
(写真はGSSI社製)

■3D表示概念

縦断面・横断面・水平断面の3レイヤー表示で地中の対象物を表示します。このため、物標の形状を分かりやすく確認することが可能になりました。



3D表示概念図



3Dレーダ取得画像

■概 要

本技術は、電磁波レーダを用いて路面下の空洞・埋設物・舗装体の劣化箇所等を探査する技術です。ロード・スキャン・ビークル(RSV)は、一回の走行で幅2.1m分(29測線分)の画像データを一度に取得し、地中を三次元で把握することができます。また、RSVにGNSS機能を搭載することで高精度の位置情報を取得することができます。

■システム構成



ロード・スキャン・ビークル外観

GPS: ネットワーク型GNSSサービス(JENOB方式)により、精度の高い位置情報が得られます。

車載カメラ: 前方・左側・右側に設置。沿道状況を記録することで異常箇所の位置の特定に利用します。

3Dレーダ: 超広帯域特性によって高分解能と深い探査深度を両立した地中レーダです。

■適用用途

- ・道路の舗装厚調査
- ・路面下空洞調査
- ・地下埋設物調査
- ・橋梁床版調査
- ・鉄道バラスト調査
- ・堤防道路調査
- ・舗装体劣化診断
- ・道路の構造調査

■調査実績

- ・国土交通省 (河川堤防道路空洞調査)
- ・県・市町村 (路面下空洞調査・埋設管調査)
- ・NEXCO (高速道路下空洞調査)
- ・その他公共機関 (河川堤防道路空洞調査)
- ・民間 (工場敷地内埋設管調査)

3Dレーダ探査システムを1台追加し2台体制とし、業務拡大に対応できる体制を確立しております。

ロードスキャンビークル（高速移動型3Dレーダ探査車）を鉄道軌道に応用。
自動走行による探査（**時速約30km**）が可能。2016年1月より受注開始。



軌道下盛土内には伏び（通水管）があります。

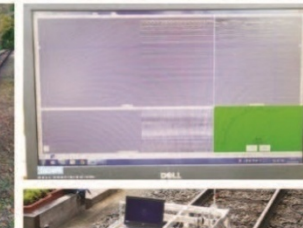
伏びの損傷は空洞を発生させ、路盤陥没を引き起こし、輸送障害の発生原因となります。軌道下空洞探査システムは、『安全』・『スピーディー』・『高精度』に空洞の早期発見・早期対策を可能にする技術で、輸送障害防止の新しい探査システムです。

レールテックは鉄道保守の専門医として鉄道の安全を支えます。



特長

- ・多チャンネルで広い探査幅 (2.1m)
- ・レーダをスライドさせての探査も可能
- ・探査画像は X、Y、Z の 3次元で表示
- ・広帯域レーダで探査精度が向上



◀ 走行探査中にデータの取得状況を確認できます。



▲ 地下の状態判定には詳細な画像解析を行います。

◀ 探査区間が短い場合、手押しでも行えます。

「安全」の追求には常に先手の対処が必要です

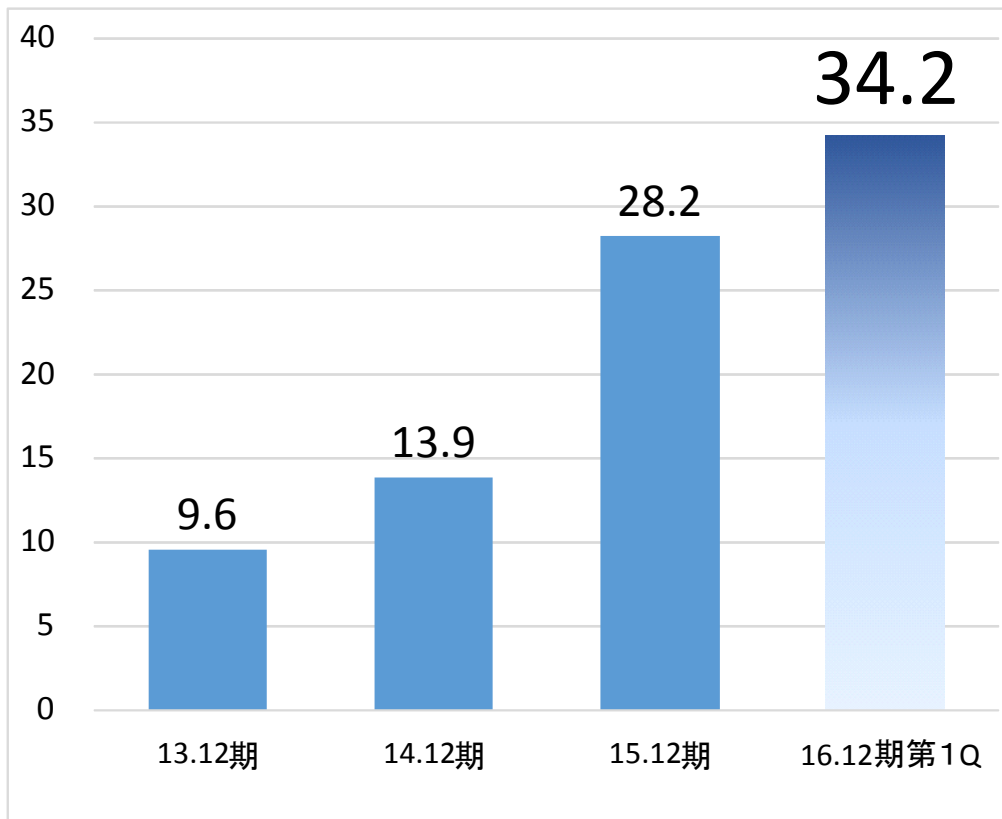
※ JR西日本等にて試験走行を実施

※ 軌道下空洞探査システムは特許出願中

ロードスキャンビークル（高速移動型3Dレーダ探査車）による道路、橋梁、トンネルの3Dレーダ探査業務が急拡大。16.12期第1Qにて昨年の売上高分の受注を獲得済み。

3Dレーダ探査業務売上高推移

（百万円）



高速移動型3-Dレーダ探査車
NETIS登録番号 KK-130032-A

ロード
スキャン
ビークル

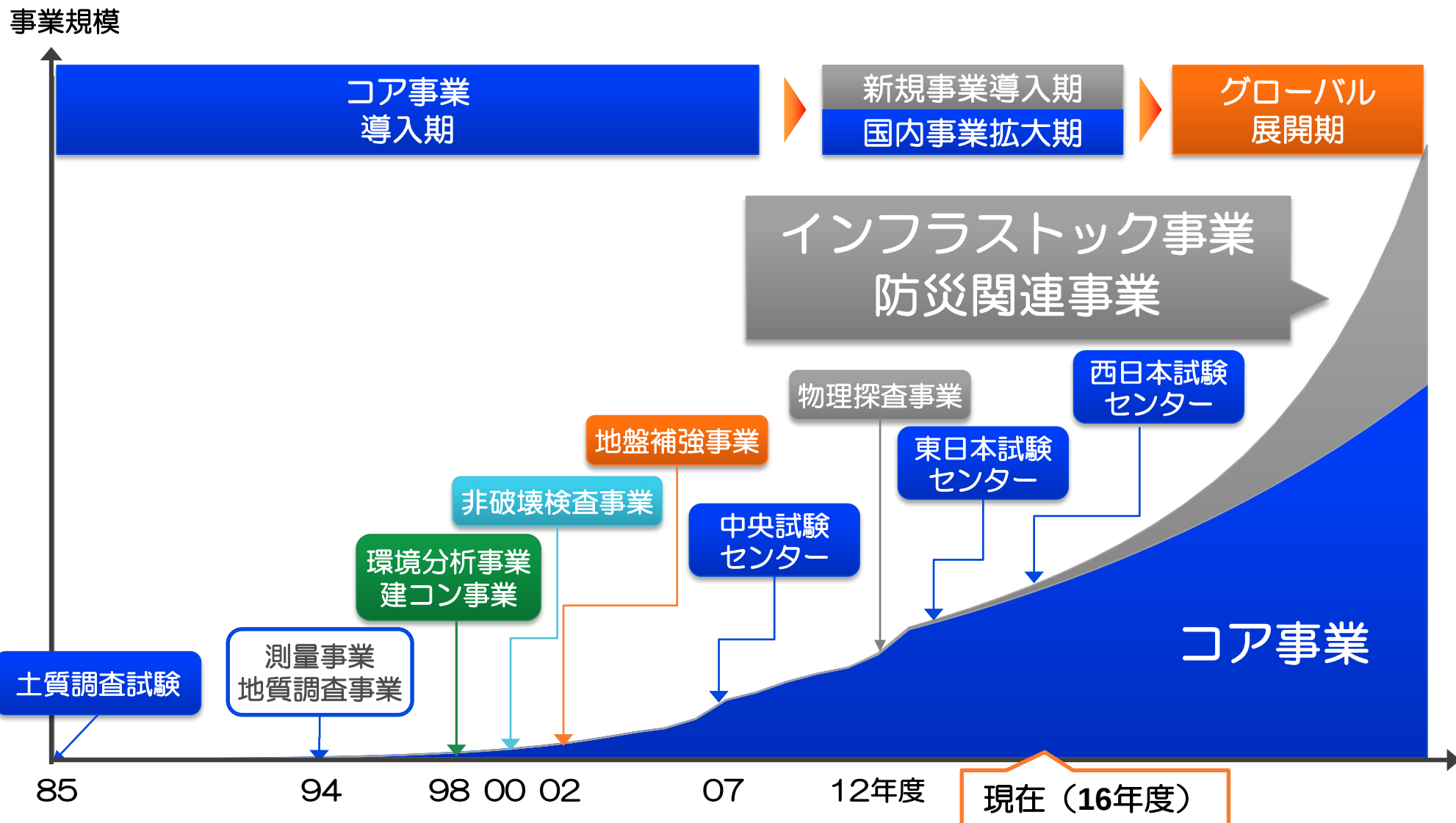


RSVの特徴

- ・車線規制なしで診断が可能
- ・高速走行（**時速約80km**）が可能

受注実績

- ・NEXCOエンジニアリング中国
- ・NEXCOエンジニアリング東北 等



IV. 配当/記念株主優待

2016年12月期より中間配当を開始。

2016年12月期は大幅増配により配当性向**35.5%**を予定

(円)

1株当たり配当金	2014.12期	2015.12期	2016.12期 (予想)	前期比額
中間(6月末)	0	0	7.5	+7.5
期末(12月末)	2.5	9	7.5	△1.5
合計	2.5	9	15	+6

(注) 表の数値につきましては、2016年4月1日付で1株につき2株の割合で分割しており、2014年12月期、2015年12月期の数値につきましても分割を考慮した数値を表示しております。

■上場1周年記念株主優待実施

【対象株主】

2016年6月30日現在の株主名簿に記載された、
1 単元（100株）以上保有されている株主様

【内容】

以下よりご選択いただきます

（1）日本酒（にがり酒）

長野県長野市川中島 株式会社酒千蔵野

上場記念 純米にがり酒「川中島」720ml（1,200円相当）

（2）信州千曲の杏和菓子

長坂製菓 杏花堂

杏和菓子（1,200円相当）



純米にがり酒「川中島」720ml

■本記念株主優待は今回限りではありますが、今後につきましては、株主様への利益還元という観点からも年1回（期末基準）の株主優待の実施を検討しております。

V. 参考 (2016年第1四半期決算概要)

(百万円)

	2015年 第1四半期	2016年 第1四半期	前期比額	前期比率 (%)
売上高	1,189	1,196	+6	100.6
売上総利益	452	426	△25	94.3
販売費及び一般管理費	253	273	+20	108.1
営業利益	199	152	△46	76.7
経常利益	199	153	△46	76.8
四半期純利益	121	93	△28	76.8
EPS (一株四半期純利益)	27.23円	15.16円	△12.07円	55.7

試験総合サービス事業

(百万円)

	2015年 第1四半期	2016年 第1四半期	前期比額	前期比率 (%)
売上高	1,099	1,108	+9	100.9
土質・地質調査試験業務	717	721	+4	100.5
環境調査試験業務	146	147	0	100.6
非破壊調査試験業務	234	239	+4	102.0
売上総利益	286	250	△36	87.3

地盤補強サービス事業

	2015年 第1四半期	2016年 第1四半期	前期比額	前期比率 (%)
売上高	81	74	△7	91.9
売上総利益	△1	1	—	—

貸借対照表

(百万円)

	2015年 12月期	2016年 第1四半期	前期比額	前期比率
流動資産	2,225	2,117	△107	95.2
固定資産	969	1,122	+152	115.8
有形固定資産	849	1,004	+155	118.3
無形固定資産	35	36	+0	101.8
投資その他の資産	85	81	△3	95.9
資産合計	3,195	3,240	+44	101.4
流動負債	641	639	△2	99.6
固定負債	261	271	+9	103.6
負債合計	903	910	+7	100.8
純資産合計	2,292	2,330	+37	101.6
負債純資産合計	3,195	3,240	+44	101.4
自己資本比率 (%)	71.7	71.9	+0.2	100.3

(百万円)

	2016年12月期		進捗率 (%)
	第 1 四半期累計実績	通期業績予想	
売上高	1,196	4,665	25.6%
営業利益	152	438	34.9%
経常利益	153	420	36.5%
当期純利益	93	260	35.9%

■【ご注意事項】

本資料に記述されている当社の業績予想、将来予測などは、当社が作成時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の国内及び海外の経済情勢、内外の状況変化や様々な外部要因・内部要因の変化により、実際の業績、成果はこれら見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

【お問合せ先】

株式会社土木管理総合試験所 管理部

TEL : 026-293-5677 / FAX : 026-293-6431

E-mail : sikenjyo@dksiken.co.jp

〒388-8006

長野県長野市篠ノ井御幣川877-1